

利用のご案内

開館時間

9時～17時(入館は16時30分まで)
※18時から翌朝7時まで、県道からの車輛通行ゲートは閉鎖します。

休館日

年末年始 12月27日(土)～1月1日(木)
臨時休館 6月23日(月)(館内清掃のため)

観覧料

●**企画展**:大人520円 団体420円※令和7年5月6日(火・振休)まで
大人700円 団体560円※令和7年7月4日(金)から

●**通常展のみ開催中**:大人500円 団体400円

※企画展の観覧料は通常展観覧料込み
※大人は18歳以上、団体は20人以上 いずれも消費税込み
[無料]高校生以下、高知県及び高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)

交通のご案内

●**車** 高知市中心部から約20～30分/南国I.Cから約10分もしくは高知I.Cから約15分/高知龍馬空港から約20分、JR後免駅から約15分●**路線バス** [とさでん交通]「学校分岐(歴史館入口)」下車、徒歩(登り坂)約15分。はりまや橋・高知駅北口ほかで乗車、領石、南国オフィスパーク方面(G5,6)行き(1時間に1便程度)○[南国市コミュニティバス]後免町、大津駅前から医大病院方面行き(1日2便)

無料の設備

●**駐車場** バス4台/普通車50台●**ベビーカー**2台/車いす7台/高齢者用手押し車2台●**オムツ交換台**(2階多目的トイレ内と1階授乳室内)、授乳室(1階休息室の奥)

予定は変更になる場合があります。最新情報はHP、配布チラシ等で確認ください。



高知県立歴史民俗資料館
KOCHI PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY
〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡1099-1
TEL:088-862-2211 FAX:088-862-2110
https://www.kochi-rekimin.jp/
E-mail:rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

れきみんのイベントアラカルト

天然写真家前田博史写真展

①「海時々空」3月20日(木・祝)～4月6日(日)
②秋頃(予定)

会場:2階エントランスホール
観覧料:無料
※館内の他の展示を観覧する場合は観覧券が必要



第15回 岡豊山さくらまつり 4月6日(日)

桜の名所・岡豊山!ダンスや音楽演奏、マジックショーなどに加え、ステージではやなせたかし先生デザインキャラクターが大集合!グルメブースも出店。岡豊山で春の訪れをご体感ください。



れきみんの日 5月3日(土・祝)

観覧無料の開館記念日。展示に関するクイズや貴重資料の期間限定公開など、楽しいイベントも開催します。



第16回 長宗我部フェス 5月10日(土)

岡豊山に居城を構えた戦国武将・長宗我部氏を盛り上げるイベント。迫力の鉄砲隊演武、ステージイベントやグルメブースも予定。



れきみん!サマーミュージアム 7月26日(土)、8月11日(月・祝)、8月23日(土)

子どもから大人まで楽しめるワークショップなどを開催。

第13回 旧大板高校民俗資料一般公開 開催日未定 入場無料

香美市物部町の旧大板高校に保管している当館所蔵の民俗資料約2千点を年に一回特別公開します。

れきみんのお正月 令和8年1月2日(金)・3日(土)

大人から子どもまで楽しめるお正月にちなんだ催しを開催。歴史館で新しい年をスタートしませんか。



みどころいっぱい!岡豊山歴史公園と土佐のまほろば

第20回 岡豊山フォトコンテスト

募集期間:7月2日(水)～10月24日(金)17:00まで
作品展示:11月23日(日・祝)～令和8年1月18日(日)
※応募の詳細はチラシ、当館HPでご確認ください

当館が建つ岡豊山は戦国武将・長宗我部氏が居城とした岡豊城跡(国史跡)があり、また標高97mから眺める景色やサクラやツツジをはじめ季節折々の植物を見ることが出来る場所。そんな岡豊山の魅力を再発見していただくため、「岡豊山の春夏秋冬」をテーマに今年も写真を募集します。応募作品のなかからオリジナルカレンダーを作成予定。すてきな作品をお待ちしています。



第19回最優秀賞「緑陰に憩う」島元慶子

山村民家 旧味元家住宅主屋 (登録有形文化財 平成12年4月28日登録)

高知県津野町(旧東津野村)北川から移築したかやぶき屋根の山村民家です。寒さを避けるため蒸桶が屋内に設けられているのが特徴です。また、古い民家は釘を使わない組み手の技術で建てられているため、解体・再利用しやすく、移築時には、天保3年(1832)の墨書銘が見つっています。

いろいろの火焚き:定期的にいろいろに火を入れます。パチパチ薪がはぜる音を聞きながら、暖かい火を囲みませんか?

開催日:毎月第3日曜日(7,8月を除く)9:30～12:00
4月20日、5月18日、6月15日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、令和8年1月18日、2月15日、3月15日



高知県立歴史民俗資料館 年間カレンダー

2025.4-2026.3
令和7年4月→令和8年3月

高知県立歴史民俗資料館
KOCHI PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

【左はけおとけ(湯本豪)記念日本妖怪博物館(二次ものけミュージアム)蔵】

西南四国の中世社会と公家

企画展



▲金剛福寺の青磁(土佐清水市指定文化財) 土佐清水市金剛福寺蔵

2月28日(金)～5月6日(火・振休)

今回取り上げる西南四国とは、主に高知県の幡多地方と愛媛県の南予地方を指します。この地域は中世において、一条氏や西園寺氏という中央(京都)の公家たちから注目されてきたことが、これまでの研究により明らかになっています。そこには経済・流通をはじめとして、いくつかの要因があるようです。

本展では、愛媛県歴史文化博物館の特別協力により、昨年度から共同調査を続けてきた成果をご紹介します。古文書や寺社に残る歴史資料、京都市や長崎県松浦市内の遺跡をはじめ発掘された出土資料を通じて、本展タイトルの「公家」という視点を据えながら、西南四国の中世社会を再認識していただく機会になればと思います。



▲西園寺公広坐像 西予市光教寺蔵(愛媛県歴史文化博物館管理)

関連企画

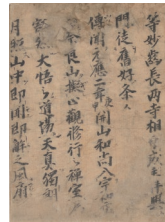
- 講座2「伊予西園寺氏と南予の争乱」
4月19日(土) 愛媛県歴史文化博物館専門芸員 山内 治朋氏
- 講座3「一條教房の幡多荘下向と在地勢力」
—「大乘院寺社雑事記」に見る幡多荘直務支配の様相—
5月6日(火・振休) 歴史研究家 東近 伸氏
※いずれの講座も14:00～15:30(先着各100名)
- ミュージアムトーク
①4月12日(土) ②5月3日(土・祝) いずれも13:30～14:00
- ワクワクワーク「岡豊城跡クイズ&探検!」
4月13日(日) 10:00～11:30(先着15名) ※荒天時は中止の場合あり



▲黒糸威(正装) 足利市立歴史博物館蔵(宇和島市指定有形文化財) 宇和島市教育委員会(宇和島県歴史文化博物館管理)



▲「変化絵巻」(湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)蔵)



▲備長寺縁起(重要文化財) 西予市備長寺蔵(愛媛県歴史文化博物館管理) ※4/19～5/6のみ実物展示

三次もののけミュージアム

妖怪累累

湯本豪一記念

日本妖怪博物館

セレクション

企画展

7月4日(金)～9月7日(日)

湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)は日本一の妖怪専門のミュージアムです。同館が立地する広島県三次市は、江戸時代最大の妖怪譚「稲生物怪録」の舞台としても知られています。同館は、稀代のコレクター・湯本豪一さんが、約5,000点の妖怪コレクションを市に寄贈したことから、オープンしました。

本展は、同館所蔵の絵巻や冊子、おもちゃなど、よりすぐりの名品を展示し、そのエッセンスを紹介するとともに、畏怖の対象だった見えない妖怪を視覚化し、娯楽の対象へと展開してきた人々の想像力の歴史に迫ります。

あわせて、土佐の妖怪を紹介するコーナーも設けます。

関連企画

- 講演会「妖怪を集める—日本一の妖怪コレクションから読み取れること—」(仮)
8月3日(日) 14:00～16:00
講師: 湯本豪一氏(湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)名誉館長)
- 講座「土佐妖怪列伝」
①7月20日(日)、②8月30日(土)
いずれも14:00～16:00 講師: 梅野光興(当館学芸員)
- ミュージアムトーク
①7月26日(土)、②8月11日(月・祝) いずれも14:00～14:30



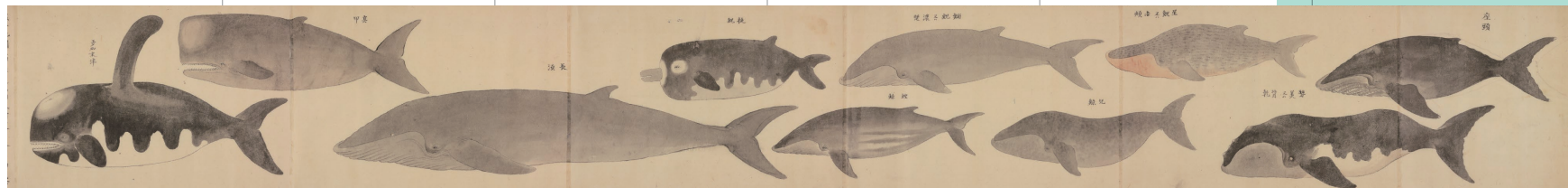
▲「百物語絵巻」(湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)蔵)



▲化物歌合せ(湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)蔵)



▲天狗根付(湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)蔵)



▲河田小龍筆「鯨鯨十種略図」(当館蔵)

武市半平太の書画

企画展

令和8年(2026)
10月10日(金)～1月12日(月・祝)

土佐勤王党の盟主・武市半平太(瑞山)が没した慶応元年(1865)から、今年で160年となります。半平太といえば、妻に宛てた愛情こまやかな手紙がよく知られていますが、書や画を好んだ一面もあり、県内にもこうした書画が数多く残されています。本企画展では、県内各地の半平太の書や絵画を一堂にあつめることにより、これまであまり知られていなかった半平太の一面を紹介します。 ※関連企画など詳細は、当館ホームページやチラシにてご確認ください。



▲武市半平太(中) 自画像(当館蔵) ▲瑞山太郎朝尊短刀(個人蔵)



企画展

歴民コレクションをひもとく

—あつめる、つたえる—

令和8年(2026)
2月27日(金)～5月17日(日)

博物館は、資料を展示するだけでなく、資料を「収集」し、「保存」することも大切な役割です。平成3年の開館以降、当館が収集してきた資料は、総数18万点を超えています。本展では、所蔵資料のうち、おなじみの逸品や知られざる貴重な資料などから、当館のコレクションの成り立ち、その意義を紹介します。加えて、人口減少、過疎化が進行する本県において、これらのコレクションを次世代に伝えていく意義を問いかけます。 ※関連企画など詳細は、当館ホームページやチラシにてご確認ください。



▲布袋唐子香爐(尾戸焼) (当館蔵)

講演会・講座・ワークショップの申込方法 講演会・講座は参加費無料(要観覧券)。ワークショップの定員参加費は企画ごとに異なります。申し込みは必ずしも電話・FAX・メールで直接当館まで、先着順。